

「やっぱり稼ぐごとが好き」

出番、(お)ごさへん、(お)もぢい



山崎 覺五郎さん (76歳・茂市)

《255》

★：戦争の経験はなごさんす
 がある。★：若いころは、馬車屋
 を二十年近くやりますが、馬
 に丸太を引かせて山がら自動車
 があるごまで引つ張り出すの
 んす。★：東京にある森永乳業
 にも冬の間、夫婦で出稼ぎに行
 ったごがありますん。★：主
 な仕事は、ビンが壊れているか、
 いないかの点検作業で。★：学
 校生徒だった子どもら四人をト
 シヨリ(年寄り)に置いていく
 のに、おがだ(妻)ともどもつ
 らい思いをした覚えがあんが
 んす。★：今は、息子が経営す
 んホウレンソウを手伝っています
 んども、去年あたりから腰から
 下が痛くなつて、大変な思いを
 しています。★：ほんでも、稼
 げんごどを楽しみに、体が続く
 限り動ぐべえがんすう(笑)。

「普代の植物散歩」⑪

ノイバラ (ばら科)

大森 竹之助さん (七二)

久慈市在住



秋から冬にかけて赤い小粒の
 実が、道端や原野に目立つよう
 になる。紅葉は十月末に最高潮
 に達し、十一月ともなれば落葉
 樹は早々に地上に葉をもとす。
 ノイバラの赤く熟した果実はこ
 の淋しげな風景への移ろいを和
 らげてくれる。

どになり、盛んに枝分
 かれし茂みをつくる。
 枝は細くつる状で鋭
 く曲がつたトゲがあ
 る。山仕事やキノコ
 採りに山に入ったと
 き、衣服にからまり、
 手を引っかかれたり
 する厄介者である。



川柳 (575)

文芸の世界

川柳愛好会
十一月例会作品

生涯をこの道ひとつ光る汗
 反発はするがいつでもかわされる
 自由なる教育今は裏目に出
 三上 翠香

逆立ちをすれば良い知恵浮かぶかも
 飽食の舌にも不満皿の彩
 あの女のヘア―見事なセンスです
 深渡 汀女

衣食住足りて不満を隠せない
 生き残り洗脳したい冬間近
 北風に吹き落とされて浮くもみじ
 太長根英子

きっかけはカルチャーショック受けたから
 水に浮き流される葉は我に似る
 生涯をかけて悔いなしこの仕事
 加差野静浪

生涯を無冠のまま泳ぎ切り
 一言を言えば十口も返す人
 秋の陽に紅葉浮かせる水の面

初夏に枝先に円錐花序をつけ、直径
 約二センチの白または淡紅色の花を密集
 して咲かせ、やがて秋に実は赤
 く熟す。
 実は、乾燥して利尿・便秘
 の漢方薬として用いられるそ
 うである。赤い果実は美し
 いので生け花に利用され
 る。またバラ苗の台木と
 して利用する、かつて普
 代小学校に勤務していた
 A先生は、ノイバラを台
 木としてたくさん接ぎ木
 していたのを思い出す。

(写真: 大森さん提供)

初夏に枝先に円錐花序をつけ、直径
 約二センチの白または淡紅色の花を密集
 して咲かせ、やがて秋に実は赤
 く熟す。